

スポーツ健康科学研究科の求める教員像および教員組織の編制方針

福岡大学が定める「求める教員像および教員組織の編制方針」を踏まえ、スポーツ健康科学研究科の求める教員像および教員組織の編制方針を次のとおり定める。

(求める教員像)

スポーツ健康科学研究科は、「スポーツ健康科学分野の指導現場において、科学的根拠に基づく先進的指導を実践・応用できる人材」あるいは「スポーツ健康科学分野の高等教育機関あるいは研究機関において、自立して研究活動を遂行できる人材」を養成することを目的としている。これを実現するために、以下の能力を有した教員を求める。

- 体育・スポーツ・健康・レクリエーションに関する科学的指導を実践・応用できる専門家を養成できる者。
- 健康増進あるいは疾病・障害の治療・予防・再発防止を目的とした運動プログラムの開発・実践に関する研究を指導できる者。
- 幼少期から高齢期に至るライフステージに応じたスポーツパフォーマンスの向上を目的とした研究を指導できる者。

(教員組織の編制方針)

1. 教員組織

- スポーツ健康科学研究科では、研究科の人材養成に関する目的およびその他の教育研究上の目的を実現するため、「体育学」、「体力学」、「スポーツ医学」、「体育科教育学」、「コーチ学」、「運動健康学」、「健康運動科学」、「スポーツトレーニング科学」、「スポーツ医科学」の領域に教員を配置する。
- 教員組織を編制するにあたっては、各領域の教員数のバランスに配慮する。

2. 教員の人事

- 昇格については、大学院教育職員資格審査委員会により教育・研究業績などを精査するとともに、「福岡大学大学院教育職員資格審査基準に関する規程」ならびに「スポーツ健康科学研究科担当教員の資格審査に関する申し合わせ」に基づき、小委員会等において大学院教員資格審査を行う。

3. 教員の資質向上

- スポーツ健康科学研究科では、「通常委員会」のもと、所属教員の研究・教育能力の向上に向けて取り組む。
- 大学院FDセミナーを開催することで、所属教員の研究・教育能力の向上を図る。
- FDアンケートのフィードバック情報の有効な活用を通して、所属教員の教育実践能力の向上を図る。